

KISC

公益財団法人 かごしま産業支援センター
Kagoshima Industry Support Center

創業や研究開発に
取り組むあなたを応援します

秋号
2013

株式会社 南 光
代表取締役社長 かみたひら 上田平 たかや 孝也さん
(ビジネスマッチング協議会 会長)

今号の表紙



鹿児島七ツ島メガソーラー発電所
太陽光パネル設置用架台

株式会社 南光

代表取締役社長 かみたひら たかや
上田平 孝也

(ビジネスマッチング協会会長)

<企業概要>

所在地 鹿児島市七ツ島2-1
設立 昭和46年5月
従業員数 200名
TEL 099-263-0888
FAX 099-261-0909
URL <http://www.nanko.co.jp>
E-mail info@nanko.co.jp

今号の表紙は、建築金物から製缶溶接、精密部品、大型真空筐体加工など、県内外6つの工場・営業所で事業展開をされている株式会社南光代表取締役社長の上田平孝也さんです。

○最近では ⇒ 独自開発の太陽光パネル架台部品

鹿児島七ツ島メガソーラー発電所は国内最大級の太陽光発電施設ですが、パネルを設置する架台の80%は、当社で製作・納入しました。

求められる品質と納期、コストをクリアするため、当社のノウハウを駆使し、従来品より板厚を半分にし、特殊塗装を行い、従来品と同等の強度を持つ取付金具を開発したものです。現在も県内外から多くの引き合いが来ており、さらに応用技術を駆使して個々のニーズに対応しています。

○多様なニーズに応じた製品づくり、技術開発

当社は、鉄・アルミ・ステンレスなどをはじめとした金属材料の機械加工・板金加工⇒溶接⇒2次加工を行っており、様々なお客様のニーズに対応するために大型五面加工機やレーザー加工機などの設備を整え、お客様に満足していただける生産体制を構築しています。

また、環境関連機器として廃食用油を再利用した軽油代替燃料の生成装置ME・Xチェンジャーを開発し、多くの納入実績を持つなど、「モノづくり企業」として、時代の要請に対応した社会貢献にもつながるよう努めています。

○事業展開の基本理念「新たな挑戦と技術開発」

「自ら考えて働く」が社員に徹底してきており、コスト縮減につながる工程管理等に改善を図っています。これを基本に、新しいモノづくりへの挑戦、今まで取り組んでいない技術開発と設備、ラインの構築を常に念頭に置いています。次の挑戦の一つは新素材を活用した製品づくりを目指しています。

○県内企業の受注機会拡大に向けて！

上田平社長は、「かごしま取引商談会」受注企業で構成する「ビジネスマッチング協会」の会長を務めていただいております。本年度（10月22日開催）は発注企業31社、受注企業66社の参加がありました。



ME・Xチェンジャー
(鹿児島市観光農業公園グリーンファーム設置状況)

「地元で開催する取引商談会は大変有意義で効果が大きいんです。県外発注企業と面談後、独自に企業を訪問し、自社の技術力や製品をPRします。これを契機に多くの取引が継続しています。地元中小企業にはとて有難い事業です。これからも継続して頑張りますよ。」

CONTENTS

- 2 今号の表紙
- 3 私の思い
- 4 特集
 - ・平成25年度鹿児島県中小製造業者創業・新分野進出等支援事業助成先が決定しました
 - ・地域中小企業外国出願助成先が決定しました
 - ・平成25年度鹿児島県経営品質賞の受賞企業が決定しました
- 5 応援します！中小企業の経営革新！
- 8 がんばる進出企業 フォービステクノ(株)
- 9 わが社の輝く女性！ 大口酒造(株) 瀬戸口 智子さん
- 10 ベンチャーブラザーズコーナー
- 12 IT情報コーナー
- 14 取引振興コーナー
- 15 Information 「鹿児島大学水産学部」でラボツアーを開催しました
- 16 Information 下請取引適正化推進月間・下請かけこみ寺のご案内

私の 思い



鹿児島県溶接協会

会長 石塚 俊雄
(平成17年～現在)

- ・鹿児島市出身
- ・株式会社丸和工業会長（現在）

「鹿児島県溶接協会創立50周年を迎えて」～この人に聞く～

県内企業の発展に寄与し、人々の安心・安全に貢献

溶接技術の普及向上を目指し協会発足

溶接協会が発足した昭和38年頃の日本は、高度経済成長前夜の重要な時期にあり、溶接業界もその基盤づくりの一翼を担っていました。

しかし、当時の本県電気溶接業界の技術レベルは、必ずしも満足できるものとは言い難かったようです。

仕上がりが見えにくい溶接技術を、冶金的な概念を持って対処すること、加工材の材質や板厚等々に的確に対応した溶接材、溶接手法の選択と、それを可能にする業界全体の技術力向上など、多くの課題を抱えていたようです。

業界の先輩方は、この課題を克服し、本県溶接業界のレベル向上を目的として、全国団体や国、県の協力もいただき、当協会を発足させました。

溶接は産業を支える基盤技術

近年の溶接技術は目を見張る進歩を遂げており、今では、自動・ロボット溶接が主流となっています。しかし、溶接作業の形態が進歩しても、手溶接の基本技術なくしては信頼は得られません。基本技術に熟練した技術者が最新機器を操作して初めて信頼をつなぐことが可能となります。

当協会では、関係機関とも連携して年3回、初心者及び資格取得後3年経過した有資格者の評価試験を実施し、技術水準の維持・向上を図ることを最大の目的としています。併せて、学科講習・実技講習も定期的に行っています。

溶接は、あらゆる産業の基盤となる技術であり、これがあってこそ我が国の「モノづくり」が、世界に誇る品質と信頼性の高さを維持できるものと確信するからです。

本県の産業振興は「殖産興業」が課題

県内には、地元から成長した大型の製造企業が少ないと思います。地元で育った企業は、下請やメンテなど裾野が広く、県内経済に広く恩恵をもたらすと考えています。

県内の中小企業がさらに切磋琢磨して技術面、販売力などで力を付けていくことで、刺激が生まれ、コストや技術面に強い競争環境を惹起すると思います。

今一度、殖産興業の原点に帰り、県内企業による工業を興し、県民の暮らしの向上に寄与すべきだと考えています。

ぜひ、県内中小企業の中から、大手モノづくり企業をめざして果敢に挑戦する企業が出現することを期待しております。

50周年を迎え、更なる飛躍に向けて

この半世紀の間、社会・経済構造が変化する中で、厳しい作業環境にある溶接業界は、後継者の確保が難しい時期もありました。しかし、機械化の推進など環境整備を進め、また、技術の伝承・教育に取り組んできた結果、今では多くのマイスター技術者を輩出するなど、優れた後継者が育ってきました。

社会のインフラを守るという高い意識を持ったこの技術者達が、将来ともに矜持を持って社会貢献を担えるように、当協会は今後さらに業務内容の充実を図ってまいります。

県内企業の発展に寄与し、人々の安心・安全に貢献すべく、今後尚一層精進してまいります。



平成25年度 公益財団法人 かがしま産業支援センター

鹿児島県中小製造業者創業 ・新分野進出等支援事業

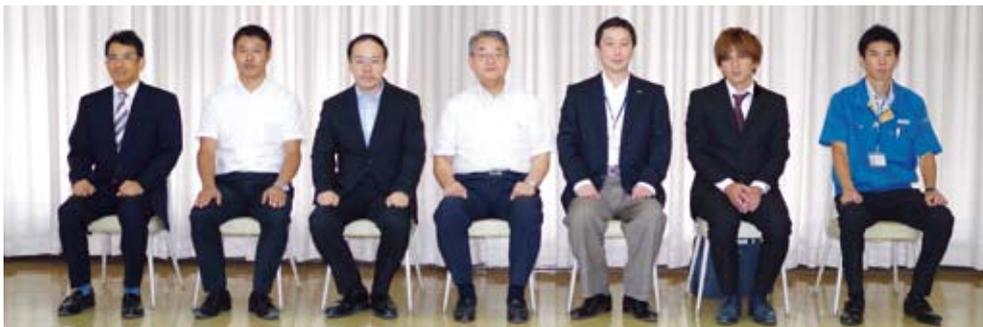
⇒ **助成先が決定しました！**
4件 助成金総額は 13,689千円
今後追加企業を決定する予定です。

自動車、電子、食品、環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ関連において、創業や新たな分野への進出、規模拡大に取り組む中小製造業者に対し、経営計画の策定、研究開発、マーケティング・販路開拓等に要する経費の一部を助成するものです。

このたび、平成25年度（5/20～6/28公募分）の助成企業を決定しました。

○経営計画実施支援事業（4件）

| 助成企業 | 助成対象テーマ | 助成予定額 (千円) |
|--------------------|--|---------------|
| 国分電機(株) (霧島市) | 自動車のLEDヘッドランプ用ダイキャスト部品の試作開発 | 3,060 |
| アロン電機(株) (薩摩郡さつま町) | ハニカム金型の加工方法開発および試作品開発 | 4,000 |
| (株)ハマ製作所 (南さつま市) | スマートフォン用高画素カメラレンズ組立装置の性能検証 | 1,630 |
| (有)ヤマチョウ (南さつま市) | 自社養殖のカンパチ・ブリを利用した付加価値の高い加工食品の商品開発及び販売・販路開拓 | 4,999 |



左から 助成決定企業のみなさん
アロン電機(株) 国分電機(株) 支援センター (株)ハマ製作所 (有)ヤマチョウ (株)ハマ製作所
坂元さん 佐野さん、森山さん 平田専務理事 竹谷さん 長井さん 尾崎さん

* 現在、追加公募中。事業概要はこちら → <http://www.kric.or.jp/topics/29610/>
【問い合わせ先】(公財) かがしま産業支援センター 総合相談室
電話：099-219-1273

地域中小企業外国出願助成

⇒ **助成先が決定しました！**

3件 助成金総額は 3,426千円
今後追加企業を決定する予定です。

経済のグローバル化に対応した国際的な事業展開や知的財産権侵害品へ対応するため、中小企業の戦略的な外国への特許出願等に対して、その費用の一部を助成するものです。

このたび、平成25年度第1回（6/28～7/19公募分）の助成企業を決定しました。

| 区分 | 助成企業 | 助成対象テーマ | 助成予定額 (千円) |
|----|------------------|---------------------------|---------------|
| 特許 | (株)エルム(南さつま市) | 安価で特性の優れたLED発光装置及びその製造方法 | 1,326 |
| | (株)J S V (鹿児島市) | 二次電池の蓄電能力劣化防止と再生及び蓄電量計測装置 | 1,500 |
| 商標 | 朝日酒造(株) (大島郡喜界町) | 黒糖焼酎銘柄「奄美朝日」 | 600 |

平成25年度鹿児島県経営品質賞の受賞企業が決定しました！
「医療法人愛誠会 昭南病院」が『優秀賞』を受賞し、去る10月15日に表彰式を開催しましたので、ご紹介いたします。

「鹿児島県経営品質賞」は、「顧客本位に基づく卓越した業績を生み出す経営の仕組みを追求し、経営品質向上プログラムを実践している企業を表彰する」ことにより、県内企業等の経営品質向上活動への取組みを促進し、県産業全般にわたる活性化を図ることを目的として、平成16年度に当センターが創設した表彰制度です。

本年度は去る8月22日に開催された判定委員会での表彰推薦を踏まえて、受賞企業が決定しました。

【平成25年度 鹿児島県経営品質賞】 『優秀賞』 医療法人愛誠会 昭南病院

・院長 朝戸 幹雄
・所在地：曾於市大隅町下窪町1番地
・診療科目：内科・外科・整形外科・放射線科・神経内科・泌尿器科・
消化器科・循環器科・リハビリテーション科・耳鼻咽喉科・眼科
TEL：099-482-0622 FAX：099-482-5357 URL：http://www.aisei-kai.com/



医療法人愛誠会「昭南病院」



「優秀賞」受賞記念撮影

【受賞理由】

- 常に地域住民と共に創る医療を目指し、医療法人愛誠会のメンバーと共に保健・医療・福祉の地域への包括的、継続的な医療サービスを提供していること。
- 地域への更に高い医療サービスを提供するために、朝戸院長のリーダーシップのもと、民間企業の経営を意識した「患者本位」、「職員重視」、「独自能力」、「社会との調和」という経営品質の4つの要素を取り込み、経営改革を進めていること。
- その結果、職員のやる気が高まり、医療の安全安心の確保や高い患者満足度が実現されると共に、財務面での向上が図られていることが高く評価され、今回の受賞となりました。

※これまでの受賞企業 ・(株)藤田ワークス（平成18年度優秀賞） ・(株)九州タブチ（平成20年度優秀賞、23年度大賞（知事賞））

【鹿児島県経営品質協議会からのご案内】

- ・当協議会では、「顧客本位」の組織体制を作り上げることの重要性や、それを実現するための有用な手法である「経営品質向上プログラム」についての勉強会・セミナー等を開催しています。
- ・経営品質賞への応募を考えておられる企業につきましても、下記までお問い合わせください。

◎鹿児島県経営品質協議会（事務局：当センター上野原ビジネスプラザ内） TEL：0995-45-3511

応援します！中小企業の経営革新！

～経営者のための経営革新支援制度活用術～

- 当センター及び県では、事業者が新たな事業活動を通じて経営の向上を図る取り組みを支援しています。
- このシリーズでは、「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律（中小企業新事業活動促進法）」に基づく経営革新計画を作成、県の承認を受けて支援策を活用し、新事業に取り組んでいる事例を紹介しします。

有限会社エスランドル



代表取締役 上釜 勝 氏

【経営革新計画のテーマ】

『独自の粉末・フレーク加工技術による農産物の高付加価値化』

< 企業概要 >

所在地：南九州市川辺町田部田5329-2
 設立：平成16年
 資本金：3,000千円
 従業員数：9名
 業種：建築設計業、農業、農産物加工業
 TEL：0993-78-3611
 HP：http://www.gokuri.co.jp/
 計画承認：平成23年5月23日

豪雨の教訓から独自の加工技術を磨く

Q. 経営革新にチャレンジしようとしたきっかけは
 鹿児島が誇る良質な農産物を全国へアピールしたい。このような思いから農業を展開することとなった当社が、はじめに手掛けたのはカボチャの高品質栽培です。

糖度を極限まで凝縮するため、1本のツルにつき1玉のみの栽培に限るなど、徹底して高品質化を追求しました。

こうして生まれたのは「極利かぼちゃ」と名付けた自信作。

地道な営業活動も功を奏し、都市圏の百貨店や有名菓子店で取り扱われるなど、順調に販路が広がりはじめました。

転機が訪れたのは、会社設立4年目の平成20年です。豪雨により、出荷を控えた極利かぼちゃが全滅してしまっただけでなく、大事に育てた野菜たちの商品価値が一瞬にして消え去ってしまったのは本当にショックでした。

これをきっかけとして、農産物を余すことなく活かせる「加工」に目を向け、県立農業大学校で農産加工の基礎を学びながら、数年の試行錯誤を重ねる中で、当社独自の乾燥粉末加工技術を確立するに至りました。

しかし、加工技術が一人歩きして顧客ニーズからかけ離れたものをつくっても意味がありません。独自の技術要素を活用して、いかにして市場の要望に

添った商品を食卓に届けるのか。

こういった課題を整理し解決していくための羅針盤づくりの一環として、商工会の協力のもとで経営革新計画の作成に着手することとなりました。

Q. 経営革新の内容とはどのようなものですか

自社独自の乾燥粉末・フレーク加工技術等を活用して、野菜や果実といった一次産品の付加価値を高めるとともに、現在の多種多様な市場ニーズに対応するために、自社農園の野菜という枠組みを超えて、多くの農業者や食品メーカー等との協働・連携を図ることで、OEM加工など、バラエティに富み、かつ高品質な農産加工品づくりを手掛けようというものです。



【長島町産のショウガから加工した「生姜糖」】

- 平成23年度「鹿児島県新加工食品コンクール」大賞
- 平成24年度「優良ふるさと食品コンクール」農林水産省食料産業局長賞

“強み”の見える化で販路拡大

Q. 経営革新の支援策利用状況を聞かせてください

県の平成24年度中小企業経営革新支援事業費補助金を活用し、自社製農産加工品の栄養分析や細菌検査等を実施しました。

乾燥粉末加工を施すにあたり、食品業界では一般生菌数の厳格な制限・基準がありますが、当社の特殊加工を経た商品はその基準を大きくクリアします。

その強みを、外部の検査機関の試験を通じて数値等に見える化できるようになったことで、自社商品の品質の高さと確かな技術力を今まで以上にアピールすることができるようになりました。



【特殊低温乾燥で豊かな食感に仕上げた生姜クラッチ】

独自技術とアイデアの融合で農産物の可能性を無限大に

Q. 今後の事業展開について教えてください

当社は、添加物や保存料を使用せずに、いかにして魅力的な農産加工品をつくるかにこだわってきました。

今、その取り組みと経験が徐々に実りつつあり、「トマトグラッセ」や「生姜クラッチ」など、当社の技術とアイデアでしか作ることができないと胸を張っていえる人気商品が生まれはじめています。

これからもエスランドルならではの、安全・安心でユニークな商品づくりと農産加工に挑戦していくとともに、例えば、ご年配の方に安心しておいしく召し上がっていただけるような新商品の開発など、時代の流れを見据えた新たな取り組み「経営革新」に力を入れたいと考えています。



【特殊乾燥技術で旨みを凝縮したトマト、キンカングラッセ】

※当コーナーの取材は、県庁経営金融課にお願いしたものです。

経営革新支援制度のご案内

新商品の開発・生産、新サービスの提供など新たな事業活動を通じて、経営の向上を図ること（経営革新）に積極的に取り組む中小企業を支援しています。

【経営革新計画の承認基準】

- ①新商品の開発又は生産、新役務の開発又は提供など新たな取り組みであること。
- ②付加価値額と経常利益の数値目標が次のとおりであること。

| 経営指標 \ 計画年数 | 3年 | 4年 | 5年 |
|-----------------------|------|-------|-------|
| 付加価値額（営業利益＋人件費＋減価償却費） | 9%以上 | 12%以上 | 15%以上 |
| 経常利益（営業利益－営業外費用） | 3%以上 | 4%以上 | 5%以上 |

【支援策の内容】 ①政府系金融機関による低利融資 ②信用保証の特例 ③県補助金 など

【問い合わせ先】 県庁経営金融課 経営支援係

TEL：099-286-2944（直通）、FAX：099-286-5576、E-mail：shien@pref.kagoshima.lg.jp

がんばる進出企業

フォービステクノ株式会社

■会社概要

フォービステクノ株式会社は、日本フォームサービス株式会社(本社:東京都)の全額出資会社として、平成15年6月に旧宮之城町に設立し、その後、平成24年5月に倉内工業団地内に新工場を建設、移転し、現在に至っています。

■当社の優れた技術、製品

◇ 主要製品

当社は、親会社の優れた板金技術を継承し、液晶モニター・ディスプレイ等のアーム（設置面とモニター等を支える部位）などのモニター周辺機器を中心に、通信機器用筐体や太陽光パネル設置用の架台等のデザインから設計・製作まで、最新の設備と技術で製作及び販売を行っています。

また、精密板金加工から粉体塗装、アセンブリまで、お客様のご要望に添った一貫生産を行っており、特に粉体塗装は、九州管内でも僅少な大型の粉体塗装設備を有し、その製品は高品質・高機能及び耐久性に優れております。



当社製品 モニター周辺機器

◇ 高い品質基準に対応

確かな技術に裏打ちされた各種製品は、より高い品質基準を求められる官公庁をはじめ、空港や駅などの公共機関、学校などの教育機関及び複合施設などにご提供して高い評価をいただいております。

より多くのお客様のお役に立てるべく、日々高度な技術の習得に努めています。

■鹿児島進出の理由

親会社の日本フォームサービス株式会社の創業者で先代の社長がさつま町平川の出身であり、『地元で貢献したい』との思いから、生まれ故郷の旧宮之城町にフォービステクノ株式会社を設立しました。

■今後の事業展開に向けて

めまぐるしいスピードで日々変化する情報化社会

Forvice Techno
フォービステクノ株式会社



代表者：代表取締役社長 さいとう たかよし 齋藤 太誉

所在地：薩摩郡さつま町時吉2038番地5号

設立：平成15年6月

資本金：2億5,000万円

従業員数：25名

事業内容：液晶モニター周辺機器、事務機器、
その他機械・機器具等の製造及び販売

TEL：0996-52-4469 FAX：0996-52-4479

URL：http://www.forvice-t.com/

にあってモニター周辺機器は必要不可欠なアイテムと認識しています。また、2020年には『東京オリンピック』開催も決定し、公共交通機関や公共施設、その他様々な建物や施設においてモニター・ディスプレイ等のニーズはますます高まるものと推察されます。当社としてもその一端を担わしていただけるよう、『おもてなしの心』を持って業務に邁進してまいります。

当社の主力製品であるモニター周辺機器を中心に、太陽光パネル架台など常にお客様のニーズに対応した製品をご提供いたしますとともに、新しい分野にも積極的にチャレンジしていきます。

■社長談話

地域の皆様とともに成長する企業を目指します。それを基本に、最新の技術と設備でお客様にご満足していただける製品や技術・サービスの提供を通じて、人と情報化社会とをつなぐ架け橋としての役割を果たし、地域経済の活性化と地域社会の発展に貢献してまいります。



フォービステクノ株式会社

わが社の輝く女性！

今号は、主力商品「黒伊佐錦」をはじめ新商品「伊佐小町」などを製造・販売する酒造メーカー「大口酒造」で活躍されている研究員 瀬戸口智子 さんです。



大口酒造株式会社

所在地 伊佐市大口原田643
 設立 昭和45年8月
 従業員数 103名
 TEL 0995-22-1213
 FAX 0995-22-9381
 URL <http://www.isanishiki.com/>
 okuchi@isanishiki.com



くろいさくん

瀬戸口 智子 研究員

- ・鹿児島市出身
- ・鹿児島大学大学院 農学研究科卒業
- ・平成17年入社
- ☆星座 うお座

◇会社では「研究開発」を担当しています

麹、発酵状態の化学的チェックや各種の品質分析、新商品の開発、試作などを担当しています。大ベテランの研究室長のもと、2人の研究員で日々奮闘しています。

◇「専門をいかした職場」に就職できました

大学院では「サツマイモ」関連の研究に取り組んでおりました。全国的な焼酎ブームが始まった頃でした、ある発表会で当社の神渡研究室長の講演を聞いたとき、焼酎づくりの世界っておもしろいんだってことがわかりました。御縁あって就職できました。

◇仕事は？ ⇒最近では「伊佐小町」ですね！

昨年度の県特産品コンクールで当社の新商品「伊佐小町」が最優秀賞を受賞しました。花や紅茶など華やかで甘い香りが楽しめるアルコール13度の芋焼酎で、女性社員がプロデュースしました。産業支援センターから助成金をもらい取り組んだ5kgスケールでの研究成果を会社から認めてもらい、本格的な50トン規模製造に着手できました。一番品ができたときのドキドキ感はいつまでも忘れないでしょう。



伊佐小町



◇自然の力はすごいと思います：微生物など

微生物の酵母は氷点下の環境でも発酵し30℃を保てます。原料芋の品種を替えるだけで焼酎の酒質も変わってきます。おもしろいですよ。

◇失敗談ですか？

モロミの温度管理ができずに失敗したこともあるんです（研究室段階）。だけど、ああ！これは某論文に書いてあったとおりだ、本当だったんだと納得できました。失敗から次につながることもあるので、貴重な現象を見ることができた去何でも前向きに考えて失敗原因を探っています。



研究室にて（左から瀬戸口研究員、川島研究員、神渡室長）

◇心がけていること、今後の抱負は？

焼酎以外の飲料や果物などを飲食するときは、意識してその味、香りなどを五感におぼえさせるようにしています。例えば、この香りは何々の果物だと直感で判断できることは、私たちの仕事にとっても重要だからです。そして、食べる人の好みや食文化、華やかな香り、女性向け、海外向けなどなど多種多様な商品づくりを目指したいです。

◇ところで、趣味は？ ⇒「読書です」

特に、北杜夫の作品は好きです。作品中に出てくる所に旅行するんです。ここなんだ！と。楽しいですね。

◇上司から一言（かみわたり 神渡総務部長兼研究室長）



入社当時、実験は好きだけど芋焼酎の酒質にはあまり興味を示していなかった。

しかし、今では県内の女性の中で、一番の利き酒能力があると感じています。

ベンチャープラザコーナー

第58回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

平成25年8月7日(水)鹿児島市において開催し、県内の2社と県外の1社にビジネスプランを発表していただきました。(これまでの発表企業累計190社、うち県内企業139社となりました)

アンチエイジング医学教室を展開する「(有) True Balance」(発表目的: 事業P R・拡大)と、国内初の完全無添加ソーセージ原料挽肉を製造、販売する「(株)南州ミート」(発表目的: 販路拡大)の発表に、約100名の参加者も熱心に耳を傾けていました。

* 県外発表会でも、本県企業1社が販路開拓を目的に事業発表を行いました。(8月発表分)

■ (株) アーダン (西博人さん): ベンチャープラザ二月会 (福岡県) 平成25年8月19日
発表内容 「国内最高水準のシルク高配合エイジングケア化粧品の奄美発グローバル展開」

○発表その1 「健康寿命を延ばすために、アンチエイジング医学教室の事業展開とその展望」 (有限会社 True Balance)

有限会社 True Balance

代表取締役 山下 積徳
鹿児島市中山町5157
TEL : 099-266-0617
FAX : 099-266-0613
E-mail : pivot@isis.ocn.ne.jp
URL : http://www.truebalance.jp/



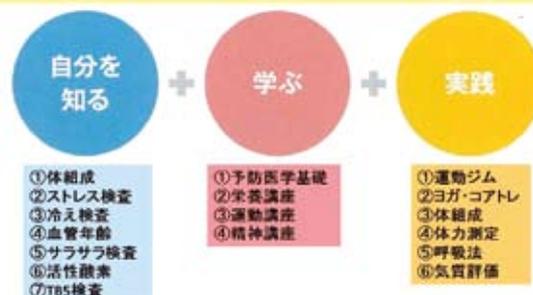
発表する
山下積徳代表取締役

《教室では ⇒ 一気通貫の健康パッケージ!》

当社のアンチエイジング医学教室は、抗加齢医学に基づいた医学的検査で個人の老化度を把握し、生活習慣改善プログラムをパッケージ化したもので、今までにない革新的なものです。

医学的老化度検査から始まり、栄養・運動・ストレス緩和のグループ学習と実践をセットで実施します。

アンチエイジング医学教室は健康寿命延伸プログラム



発表内容

《企業紹介 ⇒ アンチエイジング医学教室!》

アンチエイジング医学教室を核として、それを実践する健康複合施設(レストラン、運動ジム、アロマケア、メンタルケア機能施設)の運営などを総合的に展開しています。

* アンチエイジング医学(抗加齢医学)とは、老化のスピードを遅らせる医学

《予防医学の視点で ⇒ 実践の場を提供》

当社代表は、本県で初めて日本抗加齢医学会専門医を取得した内科・循環器科の医師です。

平成16年、当社代表による「つみのり内科クリニック」の開業と同時に健康複合施設を整備し、さらに、平成23年からは、これら既存施設等のパッケージ化を図り、代表の専門である予防医学の実践の場として当教室を開設しました。



アンチエイジング医学教室

《歓迎します: 教室参加、事業提携》

社内労務管理者や高齢者介護支援、保険業界、理美容業界、健康関連産業などの方にぜひ教室に参加していただき、業務のスキルアップに生かしてください。また、食や健康関連産業の企業様との事業提携も歓迎します。

●発表後の成果・感想、今後の展望

今回の発表を受けて、いろいろな先達の方々の存在を知れた事も大きく、今後のロードマップの方向性が見えてきたように思います。教室の結果が表われてきていますので、これからも抗加齢医学に基づいた健康増進事業をすすめていきたいと思っています。

○発表その2 **「国内初の完全無添加ソーセージ原料挽肉の製造技術開発と販路拡大」**
(株式会社南州ミート)

株式会社南州ミート
代表取締役 本田 晴花
肝属郡肝付町前田3550
TEL : 0994-65-3161
FAX : 0994-65-3162
E-mail : k-izumi@
nanshunojo.or.jp
URL : http://www.
nanshunojo.or.jp/



発表者の岩元幸三氏

能であり、自然の風味が生きた本物の味を提供できます。

■かけがえのないものだから、
From Farm to Table
(緑の農場から笑顔の食卓へ)
世界一安心安全なウィンナー造りの結晶



このマークは、安心・安全な無添加の自社ブランドです。



発表内容

《企業紹介 ⇒ 飼育から加工まで一貫体制》

株式会社南州ミートは、南州農場で生産された黒豚を原料とした食肉製品の販売や、南州農場屋台村の運営など南州農場グループの6次産業化を担う会社です。

南州農場グループでは、「安心・安全・美味しさの追求」をコンセプトとして、牛・豚飼育から食肉処理、加工までの一貫生産体制を構築しています。



《完全無添加ソーセージ原料 ⇒ 開発成功！》

開発した製品は、原料肉と豚脂、食塩、香辛料のみを原材料とし、これまでの製法では必須であった結着材等を全く添加していません。

これは、解体直後のまだ温かい肉を、新たに開発した処理手法で加工した製品であり、一貫生産体制を持つ南州農場グループならではの開発技術です。

無添加にこだわったのは、食品添加物を使用しない製品を求める多くの消費者がいることです。当社の特長をいかして、この声にお答えしたいとの思いで開発しました。

《自然の風味が生きた本物の味を提供します》

当社の完全無添加ソーセージ原料挽肉は、

- ・南州農場の健康的な豚肉を使用
- ・ISO22000認証施設で衛生的に製造
- ・新開発の加工技術で原料化
- ・保水性、結着性に優れている

のが特徴です。添加物なしでソーセージの製造が可

完全無添加ソーセージ用原料挽肉の販売形態は、業務用として1kg/1パックで真空包装して、冷凍で流通させます。

現在、家庭用ウィンナー作成キットの開発も行っています。(乞うご期待！)

※無添加のソーセージは南州農場「鹿屋食品加工工場」で製品化され、「博多阪急百貨店地下1階 南州マイスターヴェルク」で販売されています。

●発表後の成果・感想、今後の展望

発表後、色々な方面の方からお声をかけていただき、現在企画中の商品に対するアドバイスやさらに一歩進んで共同研究の可能性など示唆していただいています。

開発中は分からなかった事や自信を持てずにいた事など含めて後押しをしていただけたことが非常にうれしかったです。

今後は二水会で知り合えた企業さんと共同研究をさせていただき、さらに魅力のある商品、付加価値の高い商品を開発したいと考えています。

「次回の二水会開催」

第59回：平成25年11月13日(水) 15:00～
於：鹿児島東急イン
第60回：平成26年2月12日(水) 15:00～
(場所は鹿児島市内)

○二水会での発表を希望される企業の方は
お気軽にご相談下さい。

IT情報コーナー

オフィスにおけるコストダウン

NPO法人 ITかごしま支援隊
 理事長 山下 博美
 (ITコーディネータ)



今回のIT情報コーナーは日頃、皆様が取り組まれているオフィスにおけるコストダウンについて、再考してみたいと思います。

コストダウンの一つの手法に不良資産を減らす、または、増やさないといったものがあります。ここで言う『不良資産』とは、買ったけど使ってない、または、使う頻度が極端に低い機器や設備を指します。

どこの企業でも保有されている機器・設備に『電話』がありますが、電話とひと口に言いまして、皆様の職場で机上にある固定電話から、携帯電話やスマートフォンまで様々なものを導入されている企業も多いかと思えます。

■この『電話』も利用形態や在り方を見直し、より活用することにより、コストダウンに結びつける方法があります。

○利用頻度という視点から考えてみましょう。携帯電話やスマートフォンは日常的に携行され頻繁に利用されますが、自席の机に設置されています固定電話機はどうでしょう。一日のうち、何回ほど使われているのでしょうか。

IT分野の調査企業であるガートナーの発表によりますと、2016年までに、自席の固定電話に加え携

帯電話やスマートフォンなどが支給されている従業員のおよそ3割において、固定電話はほとんど使われないことがなくなり、不良資産化するとの調査結果が公表されています。

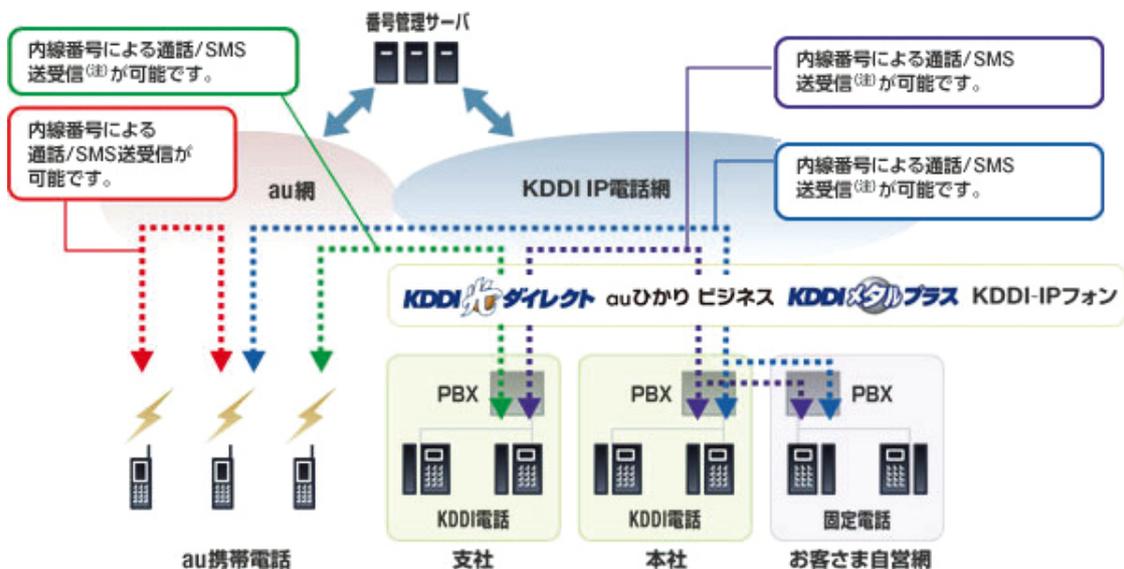
○コストから考慮しますと、社内電話設備のリニューアルに際し、思い切って固定電話機の削減を検討されるのもよろしいかと思われます。

しかし、いくらコストが下がるからと言って、不便になったり効率が悪くなれば、本末転倒となってしまいます。

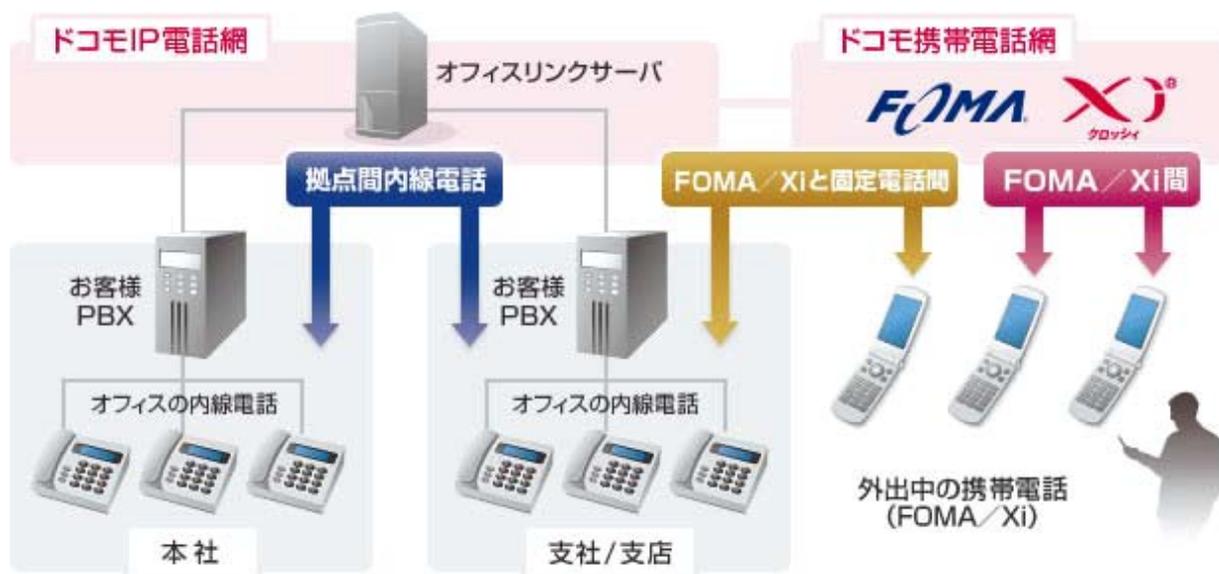
○そこで提案したいのが、FMC（通常、バラバラに利用している既存の固定電話網と携帯電話等の移動体網を融合して利用できる通信形態）と呼ばれるサービスです。FMCは各携帯電話会社、いわゆる携帯キャリア各社が提供するサービスです。およそ、下記3つのサービスがあります。

- ① 携帯電話やスマートフォンを内線電話として利用し、社内の固定電話とこれら移動体電話との内線通話を定額化するサービス
- ② PBX（電話交換機）を自社で持たずにアウトソースすることで、IP電話をより手軽に導入できるサービス

全国どこでもオフィスの電話とau携帯電話がダイレクトにつながる!



(図 I) ※ KDDI 株式会社の Web サイトより



(図Ⅱ) ※株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの Web サイトより

③ 一台の携帯電話やスマートフォンを社内ではコードレス内線として、社外では通常の携帯電話として利用できるサービス

いずれもコストダウンにつながるサービスですが、今回おすすめするのは、①のサービスです。

固定電話機を設置する代わりに、既に支給済みの携帯電話やスマートフォンを内線電話として利用することで、電話設備への投資を節減できます。必要な設備は、携帯キャリアへのインターネット回線等が1本あればいいだけです。(参照：図Ⅰ、図Ⅱ)

このサービスにより、社内↔携帯電話間の通話費用が固定額（携帯電話どうしは通話料無料）になることから通信費の削減も実現できます。

また、通話費用を気にせず利用できることから、社内コミュニケーションが一層高まるという波及効果も期待できます。

各社が提供している具体的なサービス名を紹介しますので、利用・支給されている携帯電話のキャリアで選択してください。

■ Docomo：オフィスリンク

URL <http://www.docomo.biz/html/service/officelink/>

■ au(KDDI)：ビジネスコールダイレクト

URL http://www.kddi.com/business/call_direct/

■ softbank：モバイルセントレックス

URL <http://tm.softbank.jp/business/solution/fmc/centrex/>

FMCが導入され利用料金が固定になれば、携帯電話やスマートフォンを支給されている従業員にとっては、コスト削減目的で固定電話を利用するという理由を失い、固定電話機の利用頻度は更に落ちると考えられます。

また、スマートフォンやタブレットの導入により、オフィス外での作業にさらに時間を割くことが可能になる職種では、固定電話機の必要性がほぼなくなるケースも増えると予想されます。

企業は従業員による固定電話の利用頻度、特に携帯電話やスマートフォンを支給されている従業員の利用頻度を調査するとともに、固定電話の更新のタイミングなどにおいて、利用頻度が著しく低い電話機の撤去を検討し、コストの最適化が実現できないか検討することが望ましいと考えます。

■最後に、コストダウンだけでなく、ICTの導入を決定する際には、社内の作業や業務の最適化や自動化はもとより、自社のかかわるビジネスに大きな変化をもたらすような新機軸であるか、どうかを見極め、必要と認めたら思い切って採用していくことが求められます。

そして、これまで長く親しんできたものを思い切って捨てる覚悟が必要になることもあります。利便さや効率の良さをどう補っていくか、どう向上させるかも大切なポイントです。

| |
|---|
| やました ひろみ 山下 博美 氏 |
| 所 属：NPO法人ITかごしま支援隊 理事長 鹿児島市名山町4番3号 |
| TEL：080-3443-0812 URL：http://www.itshien.org E-mail：itksall@itshien.org |

◆◆◆ 取引振興コーナー ◆◆◆

■ 県外展示会へ出展しました!! (製造業緊急新規取引先開拓支援事業)



第16回機械要素技術展 (関西)

鹿児島県と(公財)かごしま産業支援センターは、県内中小製造業の新規取引先開拓を目的に「第16回機械要素技術展(関西)」に出展しました。当展示会は、機械要素や加工技術を一堂に会した専門的な展示会として評価が高く、来場者も設計・開発・製造・生産技術部門の製造業ユーザーが中心で、具体的な商談が活発に行われました。

開催日：平成25年10月2日(水)～10月4日(金)
 場所：インテックス大阪(大阪市住之江区南港北1-5-102)
 本県からの出展企業：13社(左下表)

★かごしま産業支援センター出展企業

| | 企業名 | 出展内容 | 所在地 |
|----|---------------|-----------|----------|
| 1 | (株)岡野エレクトロニクス | ペルチェモジュール | 薩摩川内市樋脇町 |
| 2 | 鹿児島ケース(株) | 精密板金製品 | 日置市吹上町 |
| 3 | キリシマ精工(株) | 精密微細加工品 | 霧島市国分川原 |
| 4 | (株)寿精密 鹿児島工場 | 金型部品 | 薩摩郡さつま町 |
| 5 | (株)サツマ超硬精密 | 精密機械部品、金型 | 肝属郡吾平町 |
| 6 | (株)省力化技研 | 自動機、装置等 | 日置市日吉町 |
| 7 | (株)タテノ 九州工場 | ブレード、チップ等 | 始良郡湧水町 |
| 8 | テックス(株) | 表面処理サンプル品 | 薩摩郡さつま町 |
| 9 | (株)中川製作所 | 精密機械加工品 | 薩摩川内市樋脇町 |
| 10 | (株)南光 | セラミック部品 | 鹿児島市七ツ島 |
| 11 | (株)マルマエ | 精密切削加工品 | 出水市高尾野町 |
| 12 | (有)ヤナセ精機 | 精密加工部品 | 出水市平和町 |
| 13 | (株)ユニオン精密 | 精密ネジ | 薩摩川内市永利町 |



鹿児島県展示ブース

■ 新規登録企業の紹介

当センターでは取引の紹介・あっせんを行っています。取引あっせんには当センターへの登録が前提となっています。未登録企業は登録のうえ、取引あっせんをご活用いただくようお願いします。

今年度、新規に登録された企業をご紹介します。

| 登録番号 | 企業名 | 所在地 | 資本金(千円) | 従業員(人) | 業種 | 主要製品等 |
|--------|-----------------------|------|---------|--------|-----------|---------|
| J25015 | (株)鹿児島新生社印刷 | 鹿児島市 | 10,000 | 43 | 出版・印刷 | 印刷、HP製作 |
| J33388 | (株)日本地下技術 | 鹿児島市 | 20,000 | 43 | 金属製品製造業 | プラント設計 |
| J33389 | アルバックテクノ(株)ケミカルセンター本部 | 霧島市 | 125,000 | 23 | 金属製品製造業 | 表面処理 |
| J34376 | (株)FC技研 | 鹿児島市 | 2,000 | 5 | 一般機械器具製造業 | 切削加工 |
| J40015 | プリンクジャパン(株) | 鹿児島市 | 1,000 | 10 | 情報サービス業 | 映像制作 |
| J40016 | (株)システム情報パートナー 南九州支店 | 鹿児島市 | 10,000 | 12 | 情報サービス業 | システム開発 |

Information

～大学と地域企業との交流・情報交換を促進！～ 「鹿児島大学水産学部」でラボツアーを開催しました

かごしま産業支援センターでは、鹿児島大学産学官連携推進センターとの共催により、9月13日に鹿児島大学水産学部でラボツアーを開催しました。

■当日は、事前申し込みのあった県内企業や団体の皆様など約100名の参加をいただきました。水産学部水産学科5名の先生方がそれぞれの研究シーズを発表いただいた後、その研究室を訪問し意見交換を行いました。また、終了後は学部食堂をお借りし、名刺交換・情報交流会も行いました。



研究シーズの発表（上）、発表する先生方（右）



安楽和彦 准教授



進藤 稔 准教授



塩崎一弘 助教



杉山靖正 准教授

■発表では、研究成果や研究中のテーマの一部を紹介していただきました。

- | | |
|---------------------------------|------|
| ①魚の目の光感度特性とLED集魚灯の実用化研究 | 安楽先生 |
| ②付加価値の高い水産加工品等の研究開発（魚醤油、エビ殻軟化等） | 進藤先生 |
| ③水産資源からの健康機能性物質の探索と活用（特に糖鎖を標的に） | 塩崎先生 |
| ④未利用資源からの生理活性物質の探索と有効利用 | 杉山先生 |
| ⑤健康に有用な水圏生物由来の生理活性物質の発見と活用 | 小松先生 |
- 難しいテーマでしたが、持ち時間20分で、事例を使い分かり易く説明していただきました。



小松正治 准教授



研究室訪問 ⇒ 大学の持つシーズと企業ニーズのマッチング、技術移転、共同研究・開発などを期待！

■交流会の最後に、松岡達郎水産学部長が「水産学部は窓口をいつも開けており、敷居も限りなく低くして、皆様方の訪問をお待ちしています」との締めのご挨拶をいただきました。

*なお、来年初めには鹿児島工業高等専門学校でのラボツアーを開催予定です。多くの企業の皆様のご参加をお待ちしています。（内容が決定しましたら、当センターホームページ等でご案内します）

Information

～11月は下請取引適正化推進月間～

「下請代金 きちっと払って 築こう信用」 Q&A

■次の事例は、下請法上問題となるでしょうか。

Q1 親事業者は、下請事業者に対し、自社を納入場所として製造委託した製品について、納期に下請事業者から納品されてきたが、保管場所がないことを理由に納品を断った。

A1 問題となる

親事業者は、下請事業者が製品を納期に納めようとしているにもかかわらず、保管場所がないことを理由に受領を拒むことは、下請法第4条第1項第1号（受領拒否の禁止）の規定に違反することとなります。

なお、親事業者が受領を拒むことができるのは、「下請事業者の責に帰すべき理由」がある場合に限られ、出来上がった製品が契約内容と違う場合や、あらかじめ定められた納期以外の日に納品された場合などに限られます。

Q2 親事業者は、下請事業者に対し、道路貨物運送を委託しているところ、下請事業者から燃料価格が上昇したため、発注単価の引き上げを求められたが、親事業者は、従来の発注単価を据え置いたまま発注している。

A2 問題となる

親事業者は、燃料価格が上昇しているにもかかわらず、発注単価について、下請事業者と十分に協議することなく、一方的に従来どおりの発注単価を据え置いたままにしていることから、下請法第4条第1項第5項（買いたたきの禁止）の規定に違反するおそれがあります。

親事業者は、下請代金の額の決定に当たっては、市価の動向や、下請事業者の給付に必要な原材料等の価格動向等について、下請事業者と十分な協議を行った上で決定する必要があります。

下請かけこみ寺のご案内

～企業間取引に係るトラブルや悩み相談（無料）～

当センターでは、「下請かけこみ寺」を設置しています。中小企業の取引上の悩みの相談に、企業間取引や下請代金法などに詳しい相談員が無料で相談に応じています。必要に応じて、相談者の近くの弁護士に無料で相談を行うことができます。

この下請かけこみ寺事業の一環として、毎年「弁護士移動相談会」を開催しています。

※相談は無料で秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

【下請かけこみ寺】フリーダイヤル：0120-418-618 または 099-239-0260

【(公財) かがしま産業支援センター】取引振興課：099-219-1274

相談日は以下のとおりです。

下請かけこみ寺 随時（土日・祝日・年末年始を除く）

無料弁護士移動相談 平成25年11月13日（水）西之表市

同年 12月4日（水）指宿市

平成26年2月頃 いちき串木野市

編集後記

厳しい暑さの続いた夏がようやく過ぎて、めっきり秋らしく涼しくなってきました。秋の臨時国会が開会し、成長戦略や消費税、TPPなど課題山積ですが、本県中小企業の振興や県民生活の向上につながる積極的・活発な審議を期待するところです。

編集担当：坂口、野村（総務情報課）

情報 KISC AUTUMN 2013

発行者：公益財団法人 かがしま産業支援センター
〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館2F

TEL：099-219-1270（代表）

FAX：099-219-1279

E-mail：kisc@kric.or.jp

URL：http://www.kric.or.jp